

NIPPONJIN NO WASUREMONO
第2部 忘れもの
52

対談
日本食



佐竹力総氏
美濃吉代表取締役社長

「二汁三菜」を無形文化遺産に

文化産業が経済を活性化させる

河島伸子氏



同志社大経済学部教授



日本料理店は、しつらい、おもてなし、料理、礼儀作法といった文化が凝縮された空間。(昭和初期の美濃吉の厨房)

定多数の面前での飲食はおかしいですね。特に2000年代に入ってから、かつての日本人が備えていた食事に対するけじめや、食を楽しむ文化が忘れられているように感じます。

最近ではテレビで食べ物を紹介するとき、野菜でも何でも「甘くておいしい」と表現が多用されているようにも感じます。味覚が鈍っているようにも感じます。

佐竹●食の分野でも教育は大切で、都市ではいち早く食育に着目し、10年以上前から実施されています。味覚は9歳くらいまでに決まるといわれていますので、小学校低学年の子どもの対象に、和食の味の要となる「だし」を味わってもらおうと授業を開講しています。宣伝っぽくなりますが、日本文化を学ぶためには、日本料理店を訪れるのもいいでしょう。しつらい、おもてなし、料理、礼儀作法といった文化が凝縮された空間です。本を読んで覚えるより、百聞は一見にしかず、感覚的に体験することが一番の勉強になるのではないのでしょうか。

海外では今、日本食ブームが起きていますが、外国人シェフが和食の基本や生魚の衛生管理を知らずに見た目だけをとって作っていることも多いようです。食に携わる私たちは、人さまの命を預かる仕事だと心して臨まねばなりません。そこで私は日本文化を国内外に発信するクールジャパン推進会議で、正しい日本食を海外に伝え広める「食の伝道師」を提案しています。

河島●日本食はもちろん、漫画やアニメ、ゲーム、ファッションなどの日本文化が、海外で人気を集めています。外国の好みに合わせたものを輸出するのは、日本人が好きなもの、いいと思うものを、自信を持って発信し、知ってもらうことがグローバル化の基盤になるでしょう。

文化は人間によって立つところであり、誇りやアイデンティティーにつながるものです。漫画や音楽などのコンテンツは関心の有無や好き嫌いがあっても、食は誰もが共感でき、さまざまな人が楽しんで参加できるので、文化の発信においても重要なポジションだと言えるでしょう。食を含めた文化産業が、今後の日本経済を活性化させる鍵になりそうです。

河島●私は以前アメリカに住んでいましたが、確かに「いただきます」に代わる表現方法はなく、慣れないうちは違和感を覚えました。さらに、何人かで食事をすると、同席する相手を持たずに食べ始めることもよくあります。みんなそろって「いただきます」という風習も、無形遺産として後世に残したい、日本が世界に誇る文化です。

一方で「日本はどんな文化なのか」「政治や経済はどうなっているか」と聞かれても、日本人の多くはうまく答えられない傾向があります。外国人の方が「私の国の文化・社会がこうだから、こういう現象になる」と論理的に説明できる人が多いと思います。グローバル社会を生かすためには、自国の伝統文化や社会構造を理解し、自分の言葉で語れなくてはなりません。日本についての知識を深め、解説できる教育が今後必要だと痛感します。

●さたけ・りきふさ
1946年、京都市生まれ。立命館大学法学部卒。株式会社美濃吉に入社。米国サンフランシスコ市立大ホテル・レストラン学部を卒業後、同社、専務取締役社長に就任。現在、京都府料理生活衛生同業組合専務理事やクールジャパン推進会議議員、全国料理業生活衛生同業組合連合会会長などを務める。

●かわしまのぶこ
京都市生まれ。東京大教養学部卒。英国ウォリック大文化政策研究センターリサーチフェローを経て現職。同志社大日本語・日本文化教育センター所長を兼任。専門は、文化経済学、文化政策論、コンテンツ産業論。文化経済学会<日本>副会長、文化審議会委員などを務める。

きょうの季節せ(六月)
夏の月
蚕は繭に
かくれけり
渡辺水巴



「きょうの心伝で」
山田順三
京都市伏見区74歳

見守り隊が見守られて
朝の学童の通学時間帯に、見守り隊として信号のある交差点に立つてもう6年が経過した。特に事故もなくホッとしている。「おはよう」と声をかけると、「おはよう」と元気な学童の声が返ってくる。

私は学童だけでなく、通行者や、自転車の人も声をかけている。朝は一日の始まりであり、今日も頑張れよという激励のつもりである。

過日、自転車の男性が私のそばに寄ってきて、「いつも、苦勞さまです。明日からは会えませんが、どうぞお元気で……」とペダルに力を入れて、爽やかな風とともに去っていかれました。「苦勞さま」、私は思わず彼の背中に叫びました。

見守り隊の私が、見守られていたのだ。

こんな楽しいドラマのような事実が、いろいろあつて、私の元気の源泉になっている。

今朝もまた、「おはよう」と声をかけている。

「きょうの心伝で」募集
●あなたの思う「日本人の忘れもの」は何ですか？暮らしの中で忘れてはならないと思う日本人の心の糸や、伝えたい京都に残る心遣いなどをお寄せください。京都新聞社にて選考し、追加する場合もあります。原稿は返却いたしません。タイトル(12文字以内)と本文(400文字以内)、郵便番号、住所、氏名(匿名は不可)、職業、年齢、電話番号を明記し、〒604-8577 京都新聞COM「きょうの心伝で」係まで。
E-mail: wasuremono@mbk.ykoto.co.jp
●日本人の忘れもの第2部のバックナンバーは、京都新聞ホームページでご覧いただけます。http://kyoto-np.jp/kp_kyo_an/info/nw/

この本が、日本人が未来に再生するための救世の書となることを願う。

(梅原猛)

- 中西 進 京都市長官公室長官
- 中村昌生 京都市立総合文化センター長
- 井上八千代 京都市立五所山小学校校長
- 山折哲雄 京都市立大文学部教授
- 冷泉貴美子 冷泉貴美子文化財団理事長
- 池坊由紀 池坊由紀文化財団理事長
- 上村淳之 日本酒文化振興会会長
- 益川敏英 名古屋大学名誉教授
- 森 清範 清範会会長
- 千 宗室 千宗室会会長
- 大西清右衛門 美濃吉代表取締役社長
- 園城三花 ロフト代表取締役
- 金剛永護 金剛永護会会長
- 森田りえ子 日本酒文化振興会会長
- 上田正昭 京都大学名誉教授
- 瀬戸内寂聴 作家
- 高橋英一 高橋英一会会長
- 山口富雄 山口富雄会会長
- 小山勝二 京都大学名誉教授
- 山極寿一 京都大学名誉教授
- 中村玉緒 作家
- 白幡洋三郎 国際日本文化研究センター教授
- 伊田耕一 鳥羽製菓製作所社長
- 伊藤雅夫 浄土宗大本山知恩院門跡
- 中村敦夫 作家
- 村井康彦 京都市立総合文化センター長
- 菅原信海 法政大学名誉教授
- 木津川 計 雑誌「上」編集人
- 千 宗守 武蔵小学院会会長
- 森口邦彦 森口邦彦会会長
- 浅田清一 大谷大学名誉教授
- 鷺田真一 鷺田真一会会長
- 杉本秀太郎 フランシイズ
- 中島貞夫 映画監督
- 中辻憲夫 京都大学名誉教授
- 松浦俊海 正寺寺主
- 笹岡隆甫 華道・茶道・生流道会会長
- 伊東久重 有観劇協会会長
- 尾池和夫 尾池和夫国際芸術研究所長
- 九條道弘 平安神宮宮司
- 半田孝淳 天竺堂主
- 水谷幸正 学校法人華英学園理事長
- 龍村光峯 龍村光峯会会長
- 井波律子 中国文字学
- 新木直人 下鴨神社司
- 片山九郎右衛門 龍泉社社長
- 佐野隆右衛門 龍泉社社長
- 村上和雄 龍泉社社長
- 梅原 猛 著者



日本人の忘れもの
京都、こころここに

絶賛発売中

定価=1,890円 A5判 248ページ/オールカラー
お求めは、書店、京都新聞販売所、京都新聞文化センター、京都新聞出版センター (http://www.kyoto-pd.co.jp/) などへ。

おきざりにしてしまつたものがある。今、日本が大切なものに気づきはじめた。「こころここに」。京都が育んだ文化という「ものさし」が、時代に左右されない豊かさを示す。